

過越の祭りの食事から学ぶ 聖餐式

2025年4月21日



アウトライン

- 【1】 過越の祭り（ペサハ）
- 【2】 セデル
- 【3】 「過越の祭り」から学ぶ
【聖餐式】



【1】過越の祭り（ペサハ）



聖書には、神がイスラエルの民に命じた礼祭があります。

- ① 過越の祭り（ペサハ）
- ② 種なしパンの祭り（ハグ・ハマッツオート）
- ③ 初穂の祭り（ヨム・ハ・ビクリーム）
- ④ 七週の祭り（シャブオット）
- ⑤ ラッパの祭り（ヨム・テルーア）
- ⑥ 贖罪の日（ヨム・キプール）
- ⑦ 仮庵の祭り（スコッツ）
安息日（シャバット）

この礼祭の内、安息日
が最も回数が多く1年
に52回行われる。

3大巡礼祭とは

【1】過越の祭り（ペサハ）



すでに新約時代のユダヤ人は、

- ①「過越の祭り（1日だけ）」
- ②「種なしパンの祭り（7日間）」
- ③「初穂（大麦）の祭り（1日だけ）」

の3つを、1つにして「過越の祭りと言われる、種子なしパンの祭り」として祝ってた。

（ルカ22：1）

さて、過越の祭りと言われる、種なしパンの祭りが近づいていた

【1】過越の祭り（ペサハ）



出エジプト記12:1-10,24-27

- 1 主はエジプトの地でモーセとアロンに言われた。
- 2 「この月をあなたがたの月の始まりとし、これをあなたがたの年の最初の月とせよ。
- 3 イスラエルの全会衆に次のように告げよ。**この月の十日に**、それぞれが一族ごとに羊を、すなわち家ごとに**羊を用意しなさい。**
- 4 もしその家族が羊一匹の分より少ないのであれば、その人はすぐ隣の家の人と、人数に応じて取り分けなさい。一人ひとりが食べる分量に応じて、その羊を分けなければならない。
- 5 **あなたがたの羊は、傷のない一歳の雄**でなければならない。それを子羊かやぎのうちから取らなければならない。

【1】過越の祭り（ペサハ）



- 6 あなたがたは、**この月の十四日まで、それをよく見守る。**そしてイスラエルの会衆の集会全体は夕暮れにそれを屠り、
- 7 **その血を取り、羊を食べる家々の二本の門柱と鴨居に塗らなければならない。**
- 8 **そして、その夜、その肉を食べる。それを火で焼いて、種なしパンと苦菜を添えて食べなければならない。**
- 9 生のままで、または、水に入れて煮て食べてはならない。その頭も足も内臓も火で焼かなければならない。
- 10 それを朝まで残してはならない。朝まで残ったものは燃やさなければならない。

【1】過越の祭り（ペサハ）



- 24 **あなたがたはこのことを、あなたとあなたの子孫のための掟として永遠に守りなさい。**
- 25 あなたがたは、主が約束どおりに与えてくださる地に入るとき、この儀式を守らなければならない。
- 26 **あなたがたの子どもたちが『この儀式には、どういう意味があるのですか』と尋ねるとき、**
- 27 **あなたがたはこう答えなさい。『それは主の過越のいけにえだ。主がエジプトを打たれたとき、主はエジプトにいたイスラエルの子らの家を過ぎ越して、私たちの家々を救ってくださったのだ。』**すると民はひざまずいて礼拝した。

神が過越の祭に、毎年行うように命じられたことを守るため ➡ セデル

7

【2】セデル



（1）セデルとは

神が過越の祭に、毎年行うように命じられたことを守るため、「セデル」と呼ばれる特別な食事が行われる。

セデルとは「**順序**」という意味であり。食事、祈り、食品、飲み物などについて定めるものだ。

- セデルの中心は出エジプトの物語を自分の体験のように語ること
- セデルで実際に物語を語るのは「**ハガダー**」という書によって行う。それは「告げる」という意味だ。

8

【2】セデル

(2) セデルの順序

①**聖別（ガディシュ）** 家中の「パン種」（「罪」）を取り除く

②過越のシンボルとなる食事を作る。

③過越の食事用の特別な皿（セダー）に盛り付ける

- 1) カルパス（青菜） ※パセリ
- 2) マロール（苦菜） ※ホースラディシュ
- 3) ハゼレット（もっと苦い菜） ※ロメインレタス
- 4) ゼロア（子羊のすねの肉）
- 5) バイツェー（固ゆで卵）
- 6) ハロセット（甘い混ぜ物）
- 7) マッツア
- 8) 塩水を入れた鉢
- 9) ワイン（杯は4つ）

マッツア



マロール

ゼロア

バイツェー

ハロセット

カルパス

ハゼレット



【2】セデル

④ローソクに火をつける

⑤祈る

⑥ガディシュ（聖別）

⑦第1の杯を飲む ※過越の食事には4つの杯がある

1)感謝の杯（祝福の杯、聖めの杯） ルカ22:17-18

2)裁きの杯

3)贖いの杯

4)賛美の杯

1)と2)は食事の前に飲んだ。また杯は回し飲みをした。※杯は単数形である。

⑧**ウレハツ（手を洗う）** 洗足とユダの裏切りの予告① ヨハネ13:1-20

【2】セデル



⑧ヨハネ13:4-5、18

- 4 イエスは夕食の席から立ち上がって、上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。
- 5 それから、たらいに水を入れて、弟子たちの足を洗い、腰にまとっていた手ぬぐいでふき始められた。
- 18 わたしは、あなたがたすべてについて言っているのではありません。わたしは、自分が選んだ者たちを知っています。けれども、聖書に『**わたしのパンを食べている者が、わたしに向かって、かかとを上げます**』と書いてあることは成就するのです。

11

【2】セデル



- ⑨ **カルパス（野菜）** ※パセリ **ユダの裏切りの予告** ② マタイ26:21-25
マルコ14:18-21
ルカ22:21-23

マタイ26:21-23

- 21 皆が食事をしているとき、イエスは言われた。「まことに、あなたがたに言います。あなたがたのうちの一人がわたしを裏切ります。」
- 22 弟子たちはたいへん悲しんで、一人ひとりイエスに「主よ、まさか私ではないでしょう」と言い始めた。
- 23 イエスは答えられた。「**わたしと一緒に手を鉢に浸した者が**わたしを裏切ります。」

12

【2】セデル



⑩ヤハツ（折半）

マツアタッシュと呼ばれる飾りの付いた特別な袋に**3枚のマツツア**を入れる。安息日や他の祭日には、2枚だが、過越の祭では、苦難のパンが1枚加えられる。

ハガダーの物語が語られる間に、**中央のマツツアが2つに割られ**、アフィコーメンという大きな片はナプキンで包まれ、司式者によってどこかに隠される。食事の後、子供たちは隠されたアフィコーメンを探し、発見者には褒美が与えられる。



13

【2】セデル



⑪マギッド（物語）

「何が違うの？」「今夜お祝いするわけは？」など、子供からの4つの質問に答える形で、「ユダヤ民族の歴史の始まり」「出エジプト」「神の約束」や、また今までのラビの解釈を説明する。

詩篇113－114（ハレルヤ、贖いの賛歌）を朗唱

⑫第2の杯を飲む（裁きの杯）

⑬ラハツ（食事の前の手の洗い）

⑭モツティー・マツツアー（種無しパンの取り出し）

マツツアの覆いを外し、感謝の祈りをして食べる

14

【2】セデル



⑮マロール（苦菜） ※ホースラディシュ

⑯コーレフ（間に挟む）

3枚目のマツツアで、ハロセットを救い取り、もう1枚のマツツアとの間にマロールなどを挟んで食べる。ユダの裏切りの予告③ ヨハネ13:21-30

ヨハネ13：26-28

26 イエスは答えられた。「わたしがパン切れを浸して与える者が、その人です。」それからイエスはパン切れを浸して取り、イスカリオテのシモンの子ユダに与えられた。

27 ユダがパン切れを受け取ると、そのとき、サタンが彼に入った。すると、イエスは彼に言われた。「あなたがしようとしていることを、すぐしなさい。」

28 席に着いていた者で、なぜイエスがユダにそう言われたのか、分かった者はだれもいなかった。

⑰シュルハン・オレフ（整えられた食事）

15

【2】セデル



⑱ツアフン（隠されたもの）

子供たちにアフィコーメンを探させ、褒美をあげる。アフィコーメンは皆で食べる。
マタイ26:26, マルコ14:22, ルカ22:19, 1コリ11:23-24

マタイ26:26

また、一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、神をほめたたえてこれを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取って食べなさい。これはわたしのからだです。」

第1コリント11:23-24

23 私は主から受けたことを、あなたがたに伝えました。すなわち、主イエスは渡される夜、パンを取り、

24 感謝の祈りをささげた後それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

16

【2】セデル



①バレフ（食後の感謝祈祷）

「主は備え給う」「シオンの祈り」「安息日の祈り」「祭りの祈り」「エルサレムのための祈り」「神の善」「個々の祈り」「感謝の祝祷」

②第3の杯を飲む（贖いの杯） マタイ26:27-29, マルコ14:23-25, ルカ22:20, 1コリ11:25-26

マタイ26:27-28

27 また、杯を取り、感謝の祈りをささげた後、こう言って彼らにお与えになった。

「みな、この杯から飲みなさい。

28 これは多くの人のために、罪の赦しのために流される、わたしの契約の血です。

【2】セデル



①ハレル（賛美） 詩篇115-118を歌う

賛美の歌を歌ってオリーブ山へ出かけた マタイ26:30、マルコ14:26

ペテロ否認予告 マタイ26:31-35、マルコ14:27-31、ルカ22:31-34
ヨハネ13:36-38

②第4の杯を飲む（賛美の杯）

イエスはそれを再臨の時まで飲まないと言っている マタイ26:29

マタイ26:29-31

29 わたしはあなたがたに言います。今から後、わたしの父の御国であなたがたと新しく飲むその日まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは決してありません。」

30 そして、彼らは賛美の歌を歌ってからオリーブ山へ出かけた。

31 そのとき、イエスは弟子たちに言われた。「**あなたがたはみな、今夜わたしにつまずきます。**

【2】セデル

②③ニルツァ（嘉納）

「ニルツァ（נִרְצָה）」は、「受け入れられた」「喜ばれた」「満足された」という意味。

→ **ゲッセマネでの祈りに移行**

②④最後の言葉

「לשנה הבאה בירושלים」（ラシャナ・ハバア・ビルシャライム）

「来年はエルサレムで」

これは、

- 現在の不完全な世界の終わり
- メシアによる回復と完全な贖い
- 来るべきエルサレム（＝神の国）への待望

19

【3】「過越の祭り」から学ぶ

弟子たちと過越の食事をしたイエスは、マツツァとワインを、私たちの罪の贖いの為に流される、血と肉の象徴として用い、「新しい契約」を弟子たちに説明して下さった。

「新しい契約」とは、旧約聖書で預言されていた概念です。エレミヤは、次のように語っています。

エレミヤ書31：31～33

その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ。その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、**エジプトの国から連れ出した日に**、彼らと結んだ契約のようではない。わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、**彼らの心にこれを書きしるす。**

20

【3】「過越の祭り」から学ぶ



過越の祭りを「出エジプト」だけでなく、**アブラハム・イサク・ヤコブへの約束の成就**として見ることで、神の救いの計画が何世代にもわたって一貫していることが鮮明になる。

創世記15:13-14

- 13 主はアブラムに言われた。「あなたは、このことをよく知っておきなさい。あなたの子孫は、自分たちのものでない地で寄留者となり、四百年の間、奴隷となって苦しめられる。
- 14 しかし、彼らが奴隷として仕えるその国を、わたしはさばく。その後、彼らは多くの財産とともに、そこから出て来る。

イサクの代わりにささげられた雄羊が、過越の小羊、さらにはキリストの型タイプ) としての重なる。

【3】「過越の祭り」から学ぶ



ヨハネ1:14

ことばは人となって、私たちの間に**住まわれた**。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

スケイネイ 直訳すると、幕屋を張られた

イエスを信じた、私たちには、次のことが起こりました。

- (1) **私たちは、神との新しい契約関係に入れられました。**
救いとは、神との契約です。
- (2) 私たちの心に、聖霊が与えられました。「彼らの心にこれを書きしるす。」とは、そのことを意味しています。
「契約」と「心に書かれた律法」、この二つが信徒の生活のキーワードです。

- 23 私は主から受けたことを、あなたがたに伝えました。すなわち、主イエスは渡される夜、パンを取り、
- 24 感謝の祈りをささげた後それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」
- 25 食事の後、同じように杯を取って言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。」
- 26 ですから、あなたがたは、このパンを食べ、杯を飲むたびに、主が来られるまで主の死を告げ知らせるのです。
- 27 したがって、もし、ふさわしくない仕方でパンを食べ、主の杯を飲む者があれば、主のからだと血に対して罪を犯すことになります。
- 28 **だれでも、自分自身を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい。**
- 29 みからだをわきまえないで食べ、また飲む者は、自分自身に対するさばきを食べ、また飲むことになるのです。



- (マルコ14：22)
- 22 さて、一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、神をほめたたえてこれを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取りなさい。これはわたしのからだです。」
- (マルコ14：23)
- 23 また、杯を取り、感謝の祈りをささげた後、彼らにお与えになった。彼らはみなその杯から飲んだ。
- 24 イエスは彼らに言われた。「これは、多くの人のために流される、わたしの契約の血です。」